

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会
(第25期・第7回)

議事要旨

出席委員18名(敬称略):

現地(12名) 萩原 一郎、上野 佳奈子、跡見 順子、跡見 友章、岩城 光宏、川内 敬子、川原 靖弘、
清水 美穂、下村 武史、竹森 重、本間 美和子、渡辺 敏行

オンライン(6名) 大倉 典子、梅津 理恵、菊池 吉晃、高野 渉、則内まどか、福田 収一

欠席委員6名(敬称略): 小山田 耕二、岩木 直、小池 康晴、冨田 哲也、内藤 健、野崎 大地

オブザーバー参加: 現地 5名、オンライン 7名

1. 日時 令和5年9月5日(火) 10:00~17:00
2. 会場 日本学術会議会議室6-A(1)(2)及びオンライン(ハイブリッド開催)
3. 議題

(1) 前回議事要旨について承認された。

(2) 25期可視化分科会・小委員会の活動総括: 萩原 一郎副委員長

話題提供: 岩城光宏委員、跡見友章委員、竹森重委員、 上野佳奈子委員、
跡見順子委員長

松尾泰樹氏(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局事務局長)

土井美和子氏(日本学術会議連携会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監
事、奈良先端科学技術大学院大学理事、東北大学理事)

ディスカッションモデレーター: 下村武史委員、川内敬子委員、渡辺敏行委員、
本間美和子委員(跡見順子委員長講演座長)、川原靖弘委員

進行 清水美穂幹事

・萩原副委員長より、本小委員会が2件の可視化シンポジウム開催(テーマ:総合知)
を25期の活動として主導したことへの貢献、人間の細胞というミクロな側面と身体のマ
クロな側面の可視化がもたらす相互間によこたわる真理の深い理解、本小委員会の方向
性の一つとしての生命と環境の適合性が冒頭で提示され、プログラム最後の情報学委員
会環境知能分科会の土井美和子委員長による話題提供後にも、委員との活発な議論のう
え、確認された。当小委員会が議論してきた、人間を中心に据え、身体を動かすという
実践を含む学術を展開することで国民の幸福に還元できる生命科学の方向性が見えてき
た。今後の展開が期待される。

※発表資料: 萩原副委員長、岩城委員、跡見(友)委員、竹森委員、上野委員、跡見委員長、
土井氏

(別紙) オブザーバー参加者

現地

1. 小林琢也 (順天堂大学医学部薬理学講座)
2. 斉藤木紅恵 (放送大学学生)
3. 鈴木由美子 (放送大学学生)
4. 棚橋 沙由理 (筑波大学)
5. 渡辺 元 (農工大名誉教授・農業大)

オンライン

1. 大塚榮子 (北大名誉教授・学士院会員・産総研)
2. 奥山絹子 (一般、本間委員友人)
3. 嶋田 健 (SHIMA ナレッジ.Ins.)
4. 曾我部 正博 (金沢工業大学・人間情報システム研究所)
5. 藤倉 誠 (一般市民 (製造業民間企業OB、NPOメンバー))
6. 山崎 由喜 (国土館大学)
7. 山田 康雄 (放送大学学生)